

第32回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 令和5年12月27日（水） 16:00～16:50

2 場 所 赤穂市役所6階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

牟禮 正稔	赤穂市長
溝田 康人	赤穂市副市長
土遠 孝昌	赤穂市議会議長
西川 浩司	赤穂市議会副議長
吉村 武司	備前市長
杉浦 俊太郎	備前市副市長
守井 秀龍	備前市議会議長
森本 洋子	備前市議会副議長
梅田 修作	上郡町長
山本 高士	上郡町副町長
立花 照弘	上郡町議会議長
澤田 正治	上郡町議会副議長

(2) 幹 事

赤穂市：山内市長公室長
備前市：濱山総合政策部長
上郡町：木村企画広報課長

(3) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：玉木企画政策課長、深澤企画係長、軀川主事
備前市：馬場企画課長、赤木企画課主任、福島企画課主事補
上郡町：高永企画広報課副課長、玉石企画広報課主事

(4) 説明員

①教育施設部会：前川上郡町生涯学習課長
②給食部会：前川上郡町生涯学習課長
③観光部会：深澤上郡町地域振興課長
④農林商工部会：中井上郡町農林振興課長
⑤交通部会：玉木赤穂市企画政策課長（代理）
⑥通信情報部会：古谷赤穂市デジタル化推進担当課長
⑦職員部会：末井赤穂市人事課長
⑧交流定住部会：山口赤穂市観光課長
⑨医療分野：平松赤穂市民病院総務課長（代理）

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 報告事項

- ・令和4年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について
- ・令和4年度東備西播定住自立圏形成推進協議会決算について

(4) その他

- ・(参考) 東備西播定住自立圏共生ビジョン令和5年度上半期実施状況
- ・(参考) JR西日本(株)に対する「在来線(山陽本線・赤穂線)の利便性向上に関する要望書」について

(5) 閉 会

5 議事の概要

山内幹事

定刻になりましたので、ただ今から、第32回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。

本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の山内です。よろしくお願ひします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。会議の傍聴につきましては、本協議会「会議規程」第2条で原則公開となっております。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴者入室)

お待たせいたしました。

それでは、開会にあたりまして、会長であります牟禮赤穂市長よりごあいさつを申し上げます。

牟禮会長

本日は年末が押し迫り、大変お忙しい中にも関わりませず、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

この東備西播定住自立圏形成推進協議会は、今回で第32回目となります。

平成22年度から、具体的な事業に取り組みまして、現在は令和2年度から令和6年度までの5カ年の共生ビジョンのもとに、連携事業を展開しているところでございます。

新型コロナウイルスの感染拡大によりまして、これまで事業や規模の縮小などの

影響を受けておりましたけれども、本年5月から新型コロナウイルスが5類となりました。そういった意味で、日常が戻ってきたかなと思っております。

事業の方もですね、皆様方のご協力のもとに、現在はいろいろと展開しているところでございます。

14日に開催されました赤穂義士祭におきましては、備前市さん、また上郡町さんの職員を始め、いろいろな形でご協力を賜りました。この場をお借りしまして赤穂市としまして心より御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

本日は、令和4年度の事業の実施内容及び決算につきまして、ご報告をさせていただきます。

また、現在取り組んでおります、令和5年度の上半期の事業状況もご説明申し上げます。

委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行にご協力をお願いしたいと思います。

簡単措辞ではございますけれども、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく申し上げます。

山内幹事

それではここからの議事進行につきましては、協議会規約第11条第2項の規定により、会長が議長に当たることとなっておりますので牟禮会長に議事進行をお願いいたします。

牟禮会長

それでは、定めによりまして、私が議事進行を務めさせていただきます。

次第3の報告事項に入ります。

(1) 令和4年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告、及び(2)の令和4年度東備西播定住自立圏形成推進協議会歳入歳出決算について、それぞれ関連がありますので一括して報告いたします。

事務局、説明してください。

事務局

それでは私の方から説明をさせていただきます。

説明の前に資料の差し替えをお願いいたします。

事前にお配りしておりました資料のうち、第32回協議会と書かれております資料につきまして、体裁の修正等を行っておりますので、本日机にお配りしております資料と差し替えをしていただきたいと思います。

大変申し訳ございませんでした。

それでは、令和4年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告及び決算について、ご説明申し上げます。

右上に「報告事項」と記載しております資料の1ページをお願いいたします。令和4年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について、です。

はじめに、(1) 東備西播定住自立圏形成推進協議会の開催について、です。

令和4年12月26日に第30回協議会を開催し、令和3年度の事業報告及び決算、並びに東備西播定住自立圏域におけるJRへの取組みについて、ご協議をいただきました。

次に、令和5年3月29日に第31回協議会を開催し、共生ビジョン第3回変更と令和5年度予算について、ご協議をいただきました。

次に、(2)事業報告について、です。

事業報告につきましては、右上に「資料1」と記載しております「令和4年度事業報告書」をお願いいたします。

1ページをお願いいたします。

「地域医療の連携」として、はじめに、中ほど医療連携研究会事業ですが、例年、講演会が開催されておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となっております。

続きまして、2ページをお願いいたします。

上段、看護職員教育研修支援事業ですが、看護職員の研修用シミュレータなどを購入し、新人看護職員等のレベルアップに活用しております。購入した研修用備品及び購入金額は、掲記のとおりです。

次に、3ページ、圏域住民診療支援事業ですが、赤穂市民病院におきまして、平成29年9月から分娩を休止しておりますので、事業としては実施しておりません。

続きまして、4ページをお願いいたします。

「生涯学習の推進」として、11事業を行いました。

まず、日本遺産を活かした地域の魅力向上事業についてです。

圏域の日本遺産に関する講演会ということで、令和5年1月28日に、「備前市北前船寄港地日本遺産追加認定記念 北前船について」という講演会を実施し、参加者は72名でした。事業費は掲記のとおりです。

続きまして、5ページの図書館相互利用推進事業についてです。

平成23年4月より、3市町の公立図書館と、関西福祉大学図書館の各図書館の相互利用を行っております。各図書館への登録状況及び事業費につきましては、掲記のとおりです。

次に、図書館読書活動推進事業についてです。赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館において、読書を推進するため、共同で「おすすめえほん」の企画展示をしたものです。令和4年4月15日から6月12日にかけて開催し、参加者は、合計で約1,300名です。

続きまして、6ページの文化・スポーツ交流事業ですが、3市町のスポーツ推進委員の情報交換会や実技研修会、赤穂シティマラソン大会の大会運営協力や備前日生大橋全国オンラインマラソンなどの交流事業を実施しました。

次に、その下、文化・スポーツ施設相互利用促進事業ですが、3市町の文化・スポーツ施設の使用料金格差をなくし、お互い利用しやすくするために、平成23年4月より相互利用を開始しております。

続きまして、7ページをお願いいたします。

トップアスリート等招へい事業ですが、サッカー元日本代表選手を講師にお招きし、赤穂市民総合体育館において、サッカークリニックを開催いたしました。参加者は、73名で、事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、8ページをお願いいたします。

中学校吹奏楽部交流助成事業ですが、こちらは3市町の中学校吹奏楽部と赤穂市吹奏楽団による交流事業に対して助成するもので、令和5年2月11日に、圏域内の6つの中学校の吹奏楽部と関西福祉大学の吹奏楽団82人による交流演奏会を開催しました。観客数は190人で、事業費は掲記のとおりです。

次に、その下、圏域中学生体験（社会福祉・看護・教育）プログラム事業ですが、こちらは圏域内3市町の中学生が、関西福祉大学において、社会福祉・看護・教育に関する専門的なプログラムの体験を、学校教育における授業として、実施するものです。7校の生徒505名が参加し、事業費は掲記のとおりです。

続きまして、9ページをお願いいたします。

赤穂市生涯学習施設整備事業ですが、赤穂市の負担により、赤穂市文化会館市民ロビー吹抜照明LED化工事、グランドピアノのオーバーホールを行いました。

その下、備前市生涯学習施設整備事業ですが、備前市の負担により、日生市民会館舞台吊物設備改修工事を行いました。

続きまして、10ページをお願いいたします。

上郡町スポーツ施設整備事業ですが、上郡町の負担により、上郡町スポーツセンターの消防防火設備等施設修繕や総合体育館剣道場・テニスコートLED化改修工事などを行いました。

続きまして、11ページをお願いいたします。

「学校給食の広域連携」です。

学校給食連携事業ですが、こちらは学校給食の食材に関する情報交換や、圏域における地元食材等の相互活用を行うもので、令和4年8月9日に担当者会を実施しました。

続きまして、12ページをお願いいたします。

「地産地消の推進及び地域ブランドの発掘」です。

地域ブランド発掘事業ですが、地域ブランド発掘支援金として2団体に支援金を交付しております。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、13ページをお願いいたします。

観光振興推進事業ですが、アウトドアコンテンツを活用した東備西播圏域誘客事業などを行いました。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、14ページをお願いいたします。

有害鳥獣対策事業ですが、猟友会活動用資材の現物支給や捕獲活動用消耗品の購入を行いました。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、15ページをお願いいたします。

企業誘致促進事業ですが、企業誘致活動を効果的に推進するため、企業誘致リード獲得業務を委託により実施し、令和4年11月9日「サテライトオフィス・マッチングセミナー」に出展し、東備西播地域へ進出意向のある企業と面談を行いました。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、16ページをお願いいたします。

「地域公共交通」ですが、こちらは2事業実施しております。

はじめに、圏域バス運行事業ですが、圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、圏域バス「ていじゅうろう」を運行しております。

利用者数につきましては、運行状況一覧表のとおり、上郡ルートが6,071名、備前ルートが3,859名、合計で9,930名でした。

令和3年度と比較すると、上郡ルートでは858名の増、備前ルートでは384名の増となっております。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、17ページをお願いいたします。

JR利便性向上事業ですが、JR山陽本線と赤穂線の利用促進を啓発するための活動として、令和4年5月27日に圏域内の各駅前で啓発グッズの配布を行いました。また、JR西日本に対して、ダイヤの復活等についての要望書や嘆願書の提出を行いました。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、18ページ「ICTインフラ整備」として、地域情報活性化事業を実施しております。

圏域ホームページ「ともりんく」を運用し、地域コミュニティの活性化を図りました。

次にその下「地域内外の住民との交流・移住促進」です。

はじめに、19ページの民間イベント等助成事業ですが、圏域内外の住民交流の促進と、賑わいを創出する事業として、9団体が実施するイベントに対して補助を行いました。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、20ページをお願いいたします。

こどもと学生のふれあい活動支援事業ですが、こちらは関西福祉大学の学生ボランティアが夏休み期間中に実施する、夏休み宿題教室の経費に対し補助をするものです。

3市町あわせて、130名の小学生が参加し、事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、地域連携フォーラム支援事業ですが、こちらは関西福祉大学が、福祉、看護、教育の視点から、様々な地域課題の解決に向けて取り組む、地域連携フォーラムです。

令和4年11月20日に、養老孟司氏をお招きし、「今、しあわせに生きるということ」と題したフォーラムを実施し、参加者は260名でした。

事業費につきましては、掲記のとおりです。

続きまして、21ページをお願いいたします。

定住相談会開催等事業ですが、「田舎暮らしの本」に現地取材や移住者インタビューなどを掲載し、2市1町の情報発信をしたほか、移住相談会に参加して、圏域外に2市1町の魅力発信を行いました。事業費は、掲記のとおりです。

続きまして、22ページ縁結び事業ですが、こちらは圏域内の男女に、圏域の魅力ある資源を活用した出会いイベントを開催する事業です。

令和5年2月18日に『料理婚活 PARTY』と題した婚活イベントを開催しております。男性13名と、女性13名の参加があり、このうち8組のカップルが成立しております。事業費は、掲記のとおりです。

次にその下の定住相談員設置事業ですが、定住に関するさまざまな要望に対して、迅速・的確にこたえるため、平成28年度から、3市町にそれぞれ各1名、「定住相談員」を配置しております。

日頃の定住に関する問い合わせの対応をはじめ、定住相談会への同行や、お試し暮らし住宅の案内、利用者への対応などを行っております。事業費は掲記のとおりで、主に人件費となっております。

続きまして、23ページをお願いいたします。

「圏域内の職員等の交流」ですが、3事業実施しております。

はじめに職員研修事業ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しております。

続きまして、24ページをお願いいたします。

人事労務担当職員研究会（交流）事業ですが、2市1町の人事労務担当で研究会を行いました。

次にその下、専門家招へい事業ですが、赤穂市主催のヤングケアラー研修会に参加しました。赤穂市主催の事業ですので、事業費はございません。

令和4年度の事業報告については、以上です。

引き続きまして、右上に「報告事項」と記載しております資料に戻っていただきまして、2ページをお願いいたします。

横長になっております、令和4年度決算について、ご説明申し上げます。

上段には、決算額の集計を記載しております。

歳入総額は、4,071万5,997円、歳出総額は、3,787万5,239円で、差引残額は、284万758円となっております。

残額につきましては、令和5年度へ繰越しをさせていただきます。

それでは、歳入、歳出別にご説明をさせていただきます。

はじめに歳入です。

まず、1款1項1目、負担金です。

収入済額の一番上のおり、3市町から、あわせて3,436万3,062円を負担いただいております。

次に、2款1項1目、繰越金が631万8,292円、3款1項1目、雑入が、3万4,643円、それぞれ収入しております。結果、歳入合計は、収入済額が一番下、4,071万5,997円です。

次に歳出です。

3 ページをお願いいたします。

まず、1 款 1 項 1 目、一般管理費ですが、こちらは事務局の会計年度任用職員に係る報酬や共済費など、主に事務局の運営経費です。

執行額は、支出済額の一番上のおり、3 0 9 万 6 , 4 7 4 円です。

続きまして、2 款 1 項 1 目、活動事業費ですが、内容といたしましては、先ほど事業報告でご説明させていただいた、事業に対する経費です。

執行額は、事業費の支出済額のところで、3 , 4 7 7 万 8 , 7 6 5 円です。3 款 1 項 1 目、予備費の執行はございません。

結果、歳出合計は、支出済額の一番下、3 , 7 8 7 万 5 , 2 3 9 円です。

令和 4 年度の決算につきましては、以上です。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。次に、決算審査報告を、監事である備前市議会議長及び上郡町議会議長を代表し、備前市の守井委員からお願いしたいと思います。

守井委員

監事を代表いたしまして、決算監査報告をいたします。

東備西播定住自立圏形成推進協議会規約第 9 条第 2 項の規定に基づき、令和 4 年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計について、会計監査を実施しました。

監査の日時及び場所は、令和 5 年 5 月 1 8 日午前 1 0 時から備前市役所、5 月 1 9 日午前 1 0 時から上郡町役場において行いました。

監査の結果、令和 4 年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計にかかる出納その他付属書類について、諸帳簿等が適正かつ正確に処理されていることを認めましたので、ご報告いたします。

以上、決算監査報告を終わります。

牟禮会長

ありがとうございました。決算に関する説明は終わりました。以上の報告事項について何か質問等ありますか。

(特に無し)

特にないようですので、ただいまの事業報告及び決算報告につきまして、承認とさせていただきます。よろしでしょうか。

(異議なし)

それでは、承認とさせていただきます。

次に 4 の「その他」に入ります。

参考としております、東備西播定住自立圏共生ビジョン令和 5 年度上半期実施状況について、事務局、説明してください。

事務局

それでは、令和 5 年度上半期の事業実施状況について、ご説明申し上げます。

先ほどの令和4年度事業報告におきまして、各事業のご説明をさせていただきましたが、令和5年度におきましても継続事業となっておりますので、開催、または今後開催する予定の主な事業についてのみ、ご説明させていただきます。

それでは、資料2、令和5年度事業報告書（上半期）の、3ページをお願いいたします。

教育分野、生涯学習の推進についてであります。

令和2年度から新しい共生ビジョンの事業として、「日本遺産を活かした地域の魅力向上事業」に取り組んでおります。

昨年7月に備前市さんの3つ目の日本遺産として、大多府漁港元禄防波堤などの構成文化財が、「荒波を超えた男たちが紡いだ異空間～北前船帰港地・船主集落～」に追加認定されました。赤穂市も平成30年に同様に認定されておりますことから、来年1月27日に赤穂化成ハーモニーホール2階学習室において、小樽商科大学客員教授で北前船研究活用ネットワーク代表の高野宏康先生を講師にお招きし、東備西播の日本遺産講演会「北前船による瀬戸内海と各地のつながり～北前船の歴史的意義と日本遺産活用の可能性～」と題して、ご講演いただくこととしておりまして、現在、2市1町で受講者を募集しております。

続きまして、4ページをお願いいたします。

図書館相互利用推進事業ですが、こちらは、それぞれ2市1町にある図書館の相互利用を推進するため、本の返却を住民が住んでいる市町の図書館から、本を借りた他の市町の図書館まで返却する、託送サービスを実施しております。

上半期までの各図書館における登録状況については、掲記のとおりで、合計2,221名となっております。

続きまして、その下、図書館読書活動推進事業ですが、4月14日から6月11日にかけて、圏域内の4つの図書館で「おすすめ絵本展」を、開催しております。

絵本展にお越しいただいた方は、800名となっております。

次に、5ページ、文化・スポーツ交流事業であります。

7月6日に備前市ふれあいセンターにおいて、2市1町のスポーツ推進委員と担当職員による情報交換を実施したほか、来年2月17日には赤穂市の品川リフラ赤穂市民総合体育館において2市1町のスポーツ推進委員合同実技研修会を開催する予定にしております。

続きまして、6ページをお願いいたします。

中ほど、トップアスリート等招へい事業であります。

こちらは、12月17日に上郡町スポーツセンター総合体育館において、記載しておりませんが、天理大学柔道部の穴井隆将監督と、ミキハウスの丸山城志郎選手を講師に招いて、柔道教室を開催しております。

参加者は2市1町の小中学生、約150名であります。

続きまして、7ページをお願いいたします。

中ほど、中学校吹奏楽部交流助成事業であります。

来年2月10日に赤穂市の2校、上郡町の1校、備前市の4校の計7中学校が参加して、赤穂化成ハーモニーホール大ホールで交流演奏会を実施することとしております。

次にその下、圏域中学生体験プログラム事業ですが、こちらは圏域内の中学生が、関西福祉大学において、社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラム体験を、学校教育における授業として実施するもので、上郡中学校は今回参加を見送りましたが、赤穂市の5中学校と備前市の3中学校が参加して、5月24日から12月8日にかけて実施をしております。

続きまして、11ページをお願いいたします。

地域ブランド発掘事業であります。

まず地域ブランド発掘支援金ですが、今年度は日生町漁業協同組合に対して、日生かきの流通強化を図るため、「日生カキフライ」のスリーブ、贈答用の入れ物の作成費用を、補助することとしております。

また、来年2月25日に開催されます、日生かきまつりに2市1町から特産品を販売するブースを設けて、出店することとしております。

続きまして、15ページをお願いいたします。

地域公共交通ネットワークの構築について、であります。

中ほど、圏域バス運行事業として、「ていじゅうろう」が上郡ルートと備前ルートを運行しております。

今年度上半期、4月から9月の実績ですが、利用者総数は、少し字が小さいですが、一番下、左から3番目、5,808名で、内訳は上郡ルートが3,531名、備前ルートが2,277名となっており、昨年同期の利用者数と比較すると、5月からコロナが5類となったこともあり、1,346名の増となっております。

続きまして、16ページをお願いいたします。

上段、JR利便性向上事業であります。

昨年3月に設置いたしました東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会の活動として、5月26日に上郡町さんがマックスバリュ上郡南店で、5月30日に赤穂市と備前市さんとで、それぞれイオン赤穂店とマックスバリュ備前店で、「電車で行こう、みんなでつながろう、この路線」と書かれたのぼりを掲出して、ご来店の方にウェットティッシュや兵庫ディステーションキャンペーンのパンフレットなどをお配りし、JRの利用促進活動を実施いたしました。

また、上半期の実施状況として記載はしておりませんが、11月21日にJR西日本の岡山支社、昨日12月26日に兵庫支社を市長、町長、担当職員で訪問し、一昨年10月や昨年3月に削減等されました、ダイヤの復元等について、支社長に要望書を提出しております。

続きまして、17、18ページをお願いいたします。

地域内外の住民との交流・移住促進を図る、民間イベント等助成事業であります。

今年度は、18ページにあります10団体が企画するイベント等に対して、助成金を交付することとしております。

今年度の新規団体は、6番の「劇団 はなみずき」の1団体で、2市1町の方々に演劇を見てもらって、地域の活性化や文化の発展につなげたいということで、11月3日に吉永地域公民館で、演劇やダンスショーを開催しております。

続きまして、19ページをお願いいたします。

上段、こどもと学生のふれあい活動支援事業であります。

こちらは、関西福祉大学の学生が、2市1町の小学生を対象に、夏休みの学習を支援し、子どもたちの学力向上と世代間交流によって、社会性を備えた豊かな心を育むことを目的に、8月1日と2日の2日間、関西福祉大学で夏休みの宿題教室を実施しております。

参加者は、延べ114名で、参加人数は赤穂市が76名、上郡町が10名、備前市が27名、その他が1名の合計114名でございます。

続きまして、その下、地域連携フォーラム支援事業であります。

10月29日、関西福祉大学に、兵庫県立芸術文化観光専門職大学の学長で、赤穂市の市政特別アドバイザーでもあります、平田オリザ先生を講師にお招きして、「わかりあえないことから一いま求められるコミュニケーション能力」と題して、ご講演をいただいております。

参加者は、事前申込みで定員300名となっております。

続きまして、20ページをお願いいたします。

定住相談会開催等事業であります。

中ほど、移住相談会ですが、7月22日に大阪 OMM ビルで開催されました「おいでや！いなか暮らしフェア2023」に参加し、2市1町で25件の移住相談を受けております。

また、9月17日に東京国際フォーラムで開催されました「ふるさと回帰フェア2023」に参加して、2市1町で32件の移住相談を受けております。

さらに、10月28日にAP大阪茶屋町で開催した「兵庫県・岡山県オータム移住フェア2023」にも参加して、2市1町の移住・定住に結びつけていきたいと考えております。

続きまして、21ページをお願いいたします。

上段、縁結び事業であります。

来年3月10日に赤穂市にあります桃井ミュージアムで、「恋人の聖地 de 春のときめきカップリングパーティー」と題した、婚活イベントを開催する予定であります。

続きまして、最後、23ページをお願いいたします。

下段、専門家招へい事業について、であります。

こちらは、福岡県糸島市の職員で、データ分析やマーケティング戦略のスーパー公務員としてご活躍の、岡祐輔氏を講師にお招きし、2市1町の職員を対象に、来年1月15日に赤穂化成ハーモニーホールの2階学習室で「データ分析を活用した政策立案手法について」ご講演をいただくこととしております。

令和5年度、上半期の主な事業の実施状況は、以上でございます。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。今までの事業実施内容について、何か質問等ございますか。

(特に無し)

特にないようですので、続いて JR 西日本に対する「在来線(山陽本線・赤穂線)の利便性向上に関する要望書」について、事務局、説明してください。

事務局

それでは、JR 西日本に対する在来線（山陽本線・赤穂線）の利便性向上に関する要望書について、ご説明申し上げます。

お手元の資料 3-1 西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社長あての要望書と、資料 3-2 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部兵庫支社長あてに提出いたしました要望書をお願いいたします。

こちらは、11月21日に岡山支社長、昨日12月26日に兵庫支社長に提出しました要望書となっておりますが、どちらの要望書も、記載内容は同じものとなっております。

資料 3-1 を 2 枚めくっていただきまして、要望項目をお願いいたします。

以下、読みますが、要望項目 1 山陽本線並びに赤穂線の利便性確保として、(1) 朝夕の通勤・通学時間帯における上郡駅から姫路駅間、播州赤穂駅から姫路駅間、播州赤穂駅から岡山駅間のダイヤを確保されたいこと。(2) 昼間時間帯における上郡駅から姫路駅、播州赤穂駅から姫路駅間の減便、播州赤穂駅から岡山駅間の運転区間の短縮及び播州赤穂駅着の新快速の減便は、速やかに従前のダイヤを復活されたいこと。(3) 早朝の備前片上駅発岡山駅行き、深夜の岡山駅発備前片上駅行きについて、発着駅を播州赤穂方面へ延伸されたいこと。

次に、要望項目 2 地域の生活基盤の更なる向上として、(1) 地域の生活基盤を守るため、さらに関係自治体や他の交通事業者等と連携協力し、地域のまちづくりと連動した地域交通の維持や利便性の向上に取り組まされたいこと。として、それぞれ岡山支社長と兵庫支社長に要望書を提出しております。

今後も引き続き、東備西播の 2 市 1 町が、JR 利用促進協議会で連携して、JR に対して継続して要望してまいりますとともに、さらなる利用促進策についても、2 市 1 町で連携して、検討してまいりたいと考えております。

JR 西日本に対する「在来線の利便性向上に関する要望書」については、以上で、ございます。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。要望書について、何か質問等ございますか。

守井委員

利用促進協議会では、お忙しい中、ご尽力いただきありがとうございます。私どもも委員になっておりますので、お誘いいただければ一緒にさせていただきます。今後は、是非ご連絡いただければと思います。

牟禮会長

ありがとうございます。守井委員から、ありがたいお申し出がございました。また改めましてお声がけさせていただき、日程が合いましたら一緒にさせていただきますと思います。

参考ですが、兵庫県の相生産業高校は、赤穂線西相生駅が最寄駅となっており、赤穂線の利用促進について非常に活発に調査・研究していただき、賞をいただきました。具体的にどのような賞でしたか。

山内幹事

地方創生政策アイデアコンテストの最終審査で、官民連携の部優秀賞と協賛企業賞をいただいております。

牟禮会長 熱心に相生産業高校の生徒さんが、このような活動をしておられます。オブザーバーに入っていていただいておりますが、今後相生産業高校にもオブザーバーに入っていただきたいと考えております。赤穂市内からもかなり通学しておりますので、そういった意味でお声がけをしてJRの利用促進にご協力いただきたいと思っております。合わせて報告させていただきます。

他に何かご意見等ございますか。

土遠委員 学生さんが一番JRを利用しておりますので、会長のおっしゃるとおり、学生さんをオブザーバーにしていただき、意見等を活かせたらいいと思っておりますので、是非、よろしく願います。

牟禮会長 ありがとうございます。

他にありませんか。

守井委員 JRの利用に対して補助を出す等、直接的なことも今後視野に入れる必要があるのではと思います。

牟禮会長 ありがとうございます。

吉村備前市長さんからも中国支社へ訪問の際に、備前緑陽高校への補助を強調いただきました。

また積極的な財政的な出動も備前市さんの方では考えてもいいということですが、赤穂市もできれば積極的に考えたいところではありますが、財政状況がまだまだです。まず利用促進協議会の中で、情報交換しながら取り組んでいければと思っております。

よろしく願います。

他にありませんか。

(特になし)

他にないようですので、他に事務局より報告すべき事項があれば、願います。

山内幹事 次回の協議会は、令和6年度予算などをご協議いただく予定としております。開催日につきましては、改めて通知させていただきたいと思っております。以上です。

牟禮会長 その他にありませんか。

(特になし)

ないようですので、本日の会議は終了いたします。

年末のお忙しい中、お集まりいただき、また熱心にご協議いただきましてありがとうございます。